

Ⅲ 市民意識調査結果の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

奈良市では、“支え合い、ともに生きる安心と健康のまちづくり”を目指し、公民協力・協働のもと「福祉のまちづくり」に取り組んでいます。近年、認知症高齢者や障がい者などに対する虐待や悪徳商法・振り込め詐欺などの被害が多発しており、今後、奈良市においても少子高齢化が進み、権利を擁護することが必要な人は増える見込まれています。

このような中、判断能力が不十分な人が、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現に向けて支援していく制度の一つとして、成年後見制度がありますが、制度を知らない人、利用の方法がわからない人も多いのが現状です。

そこで、成年後見制度を広く市民の方に知っていただき、これからの福祉施策に反映させていくことを目的として市民意識調査を行いました。

(2) 調査期間

平成24年10月10日（水）～10月31日（水）

ただし、締め切り後に回収された調査票も、11月6日到着分までは有効として集計しました。

(3) 調査対象

調査地域	奈良市内
調査対象	市内在住の40歳以上の男女
標本数	2,000人
抽出方法	住民基本台帳人口による無作為抽出
抽出台帳	住民基本台帳

(4) 調査方法

郵送留置き法による自記式アンケート調査（無記名方式）、ハガキによる再依頼1回。

(5) 調査項目(概要)

■回答者の個人属性

（性別・年齢・職業・世帯状況・住居状況・居住地域・居住年数など）

■成年後見制度について

（制度認知・制度の利用状況・後見人・利用の理由・利用しない理由・制度の普及策）

■市民後見制度について

（制度認知・後見人になりたいか・なるための条件・なりたくない理由）

■日常生活について

（相談相手・情報入手先・日常生活の困り事・管理について）

(6) 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
2,000	1,244	62.2%

(対象地域)

地域名	対象小学校区
西部地域	伏見 伏見南 西大寺北 六条 あやめ池 鶴舞 青和 平城西 登美ヶ丘 東登美ヶ丘 鳥見 三碓 富雄南 富雄北 富雄第三 二名
北部地域	佐保台 神功 右京 朱雀 左京
中部地域	都跡 平城
中央市街地	鼓阪 鼓阪北 飛鳥 濟美 濟美南 椿井 佐保 大宮 佐保川 大安寺 大安寺西
南部地域	辰市 明治 東市 帯解 精華
東部・月ヶ瀬・都祁地域	田原 柳生 興東 月ヶ瀬 並松 都祁 吐山 六郷

2. 調査結果概要

(1) 成年後見制度や市民後見制度の認知

成年後見制度については、聞いたことはあるという人を含めても6割弱の認知度で、市民後見制度では、知らないが7割近くを占めているなどまだまだ市民に知られている制度とはなっていない状況です。

(2) 成年後見制度利用の意向について

成年後見制度を利用している人は、要介護認定を受けている人や障害者手帳の所持者に多く見られます。今後も、このような人は増加していくことが見込まれています。また、ひとり暮らしや夫婦のみの高齢者世帯の増加も見込まれることもあり、今回調査においても、このような人たちを中心に今後利用したいとの意向が高まっています。

(3) 成年後見制度で利用したい内容や後見人について

成年後見制度利用で、だれに後見人を依頼するかでは、「家族・親族」が多くなっていますが、「専門職」という回答も多くなっています。

利用したい支援内容では、「財産保全・管理に関すること」や「入院手続きなどに関する契約」、「各種行政の手続き」など契約や手続きの支援を望んでいる人が多くなっています。

(4) 成年後見制度を利用しやすくするために必要なこと

成年後見制度を利用しやすくするために必要なこととしては、「情報提供・普及啓発の充実」や「身近な相談窓口の設置」「費用負担が少ないこと」「手続きの簡素化」などが強く求められています。制度をより身近なものとするためにも、今後も啓発活動の充実や身近な相談窓口の設置などに取り組んでいくことが重要となっています。

(5) 日常生活での困り事

日常生活での困り事については、「困っていない」との回答が多数を占めていますが、訪問販売などに対する不安では、何らかの不安を感じている人が3割強いらっしゃることを考えると、日常生活の中においても、漠然とした不安を抱えている人は多く見られるという結果となっています。

このような不安を解消していくためにも、日常生活自立支援事業などのより一層の充実を図り、安心・安全な市民生活を続けていけるセーフティネットの構築が必要となっています。

困り事の相談相手としては、家族や親族、友人が多くなっていますが、続いて市役所などの公共機関や弁護士などの専門職への相談が多くなっています。

福祉に関する情報の入手手段としては、テレビや新聞といったマスコミ情報とともに、市の広報紙や社協だよりなども多くなっており、身近な媒体からの情報入手が頼られています。

3. 調査結果

(1) 成年後見制度と市民後見制度の認知度

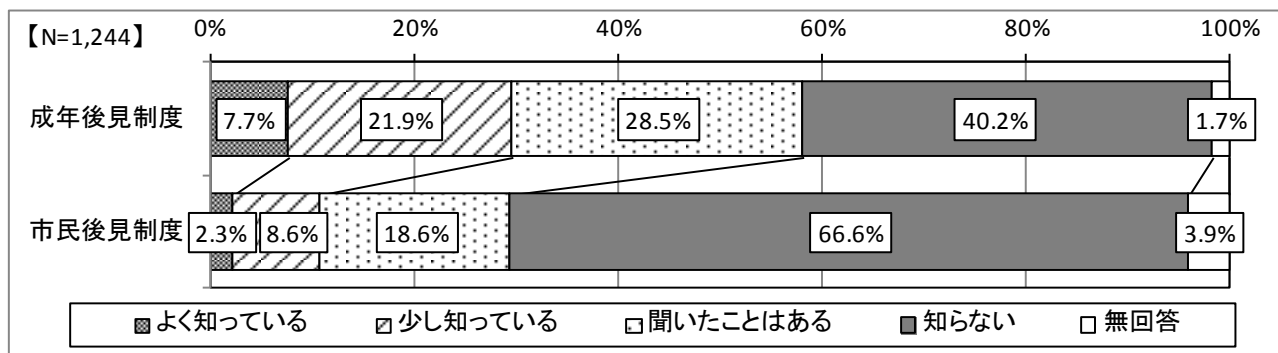
成年後見制度の認知度では、「よく知っている」は7.7%で、「少し知っている」は21.9%、「聞いたことはある」の28.5%を加えると、何らかの認知をしている人は、58.1%と半数以上となっています。

また、「知らない」は40.2%となっています。

市民後見制度の認知度では、「知らない」が66.6%と最も多くなっています。また、「よく知っている」は2.3%で、「少し知っている」の8.6%、「聞いたことはある」の18.6%を加えて、何らかの形で認知している人は29.5%となっています。

成年後見制度の認知度と比較すると、「知っている」との回答が減少し、「知らない」が増加しており、まだ広く知られていない制度とは言えない状況となっています。

図 成年後見制度・市民後見制度の認知度



(2) 成年後見制度の利用について

利用状況や考え方について問いかけたところ、「将来的には利用することも考えられる」が39.8%で、「利用は考えていない」が32.4%となっています。

「すでに利用している」は1.4%とわずかではあるが利用している人もみられます。また、「今すぐ利用したい」も0.4%ではありますがみられます。

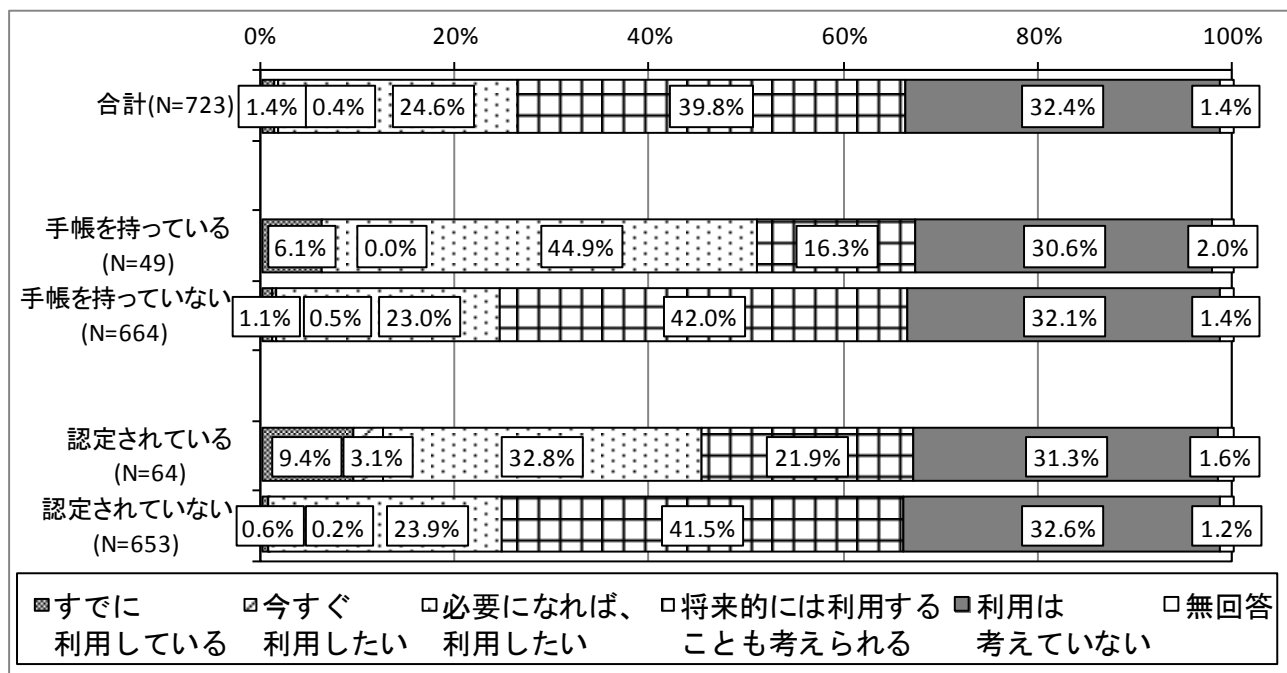
要介護認定別にみると、「すでに利用している」は「認定されている」で9.4%と多くなっています。また、「今すぐ利用したい」も3.1%と「認定されていない」の0.2%より多くなっており、「必要になれば、利用したい」も32.8%となっています。

「認定されていない」では、「将来的には利用することも考えられる」が41.5%と多くなっています。

手帳所持別にみると、「手帳を持っている」で「すでに利用している」が6.1%と多くなっています。また、「必要になれば、利用したい」も「手帳を持っている」は44.9%と「手帳を持っていない」の23.0%の倍近くとなっています。

「手帳を持っていない」では、将来的には利用することも考えられる」が42.0%と多くなっています。

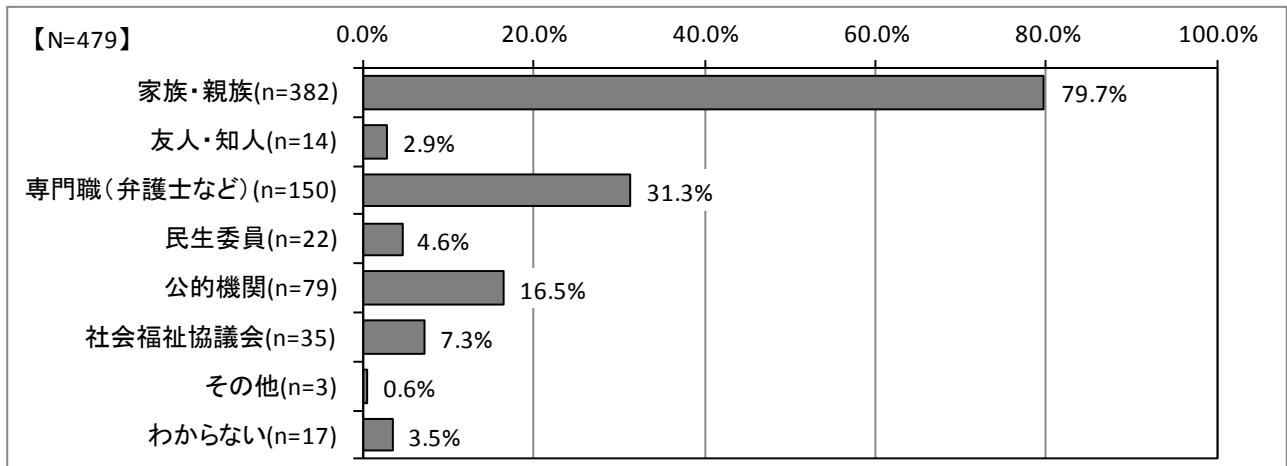
図 成年後見制度の利用について－手帳所持の有無・要介護認定の有無



(3) 後見人をだれに依頼するか

成年後見制度を利用する場合にだれに後見人をお願いするかでは、「家族・親族」が79.7%で最も多くなっています。次いで、「専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士など）」の31.3%、「公的機関」の16.5%などとなっています。

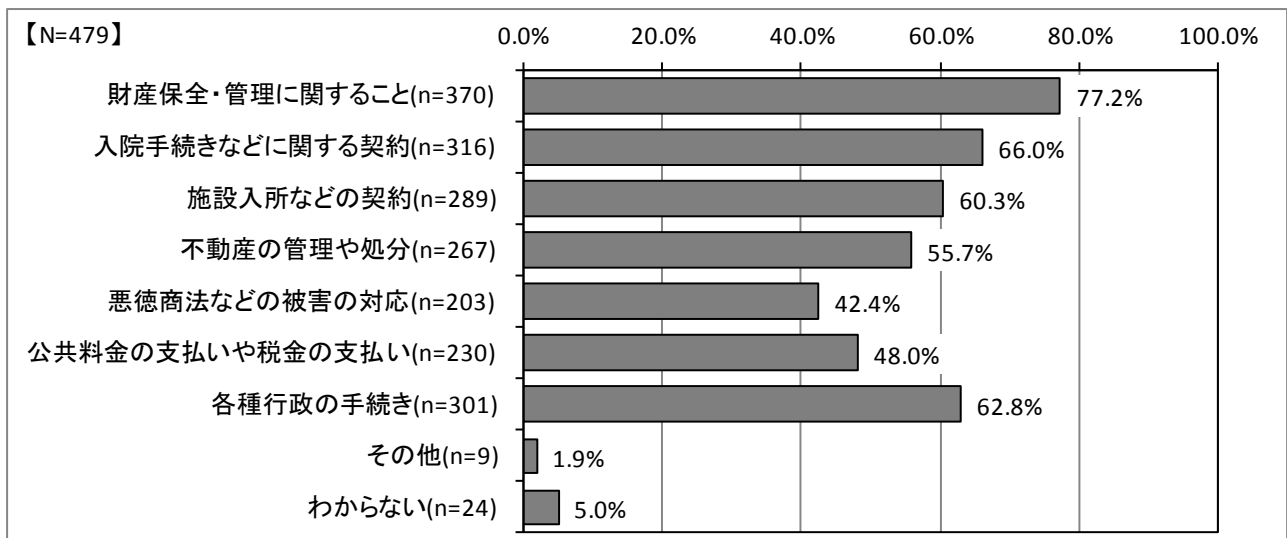
図 後見人をだれに依頼する（複数回答）



(4) 成年後見制度で利用したい支援内容

成年後見制度で利用したい支援内容は、「財産保全・管理に関すること」が77.2%、「入院手続きなどに関する契約」が66.0%、「各種行政の手続き」が62.8%、「施設入所などの契約」が60.3%などとなっています。

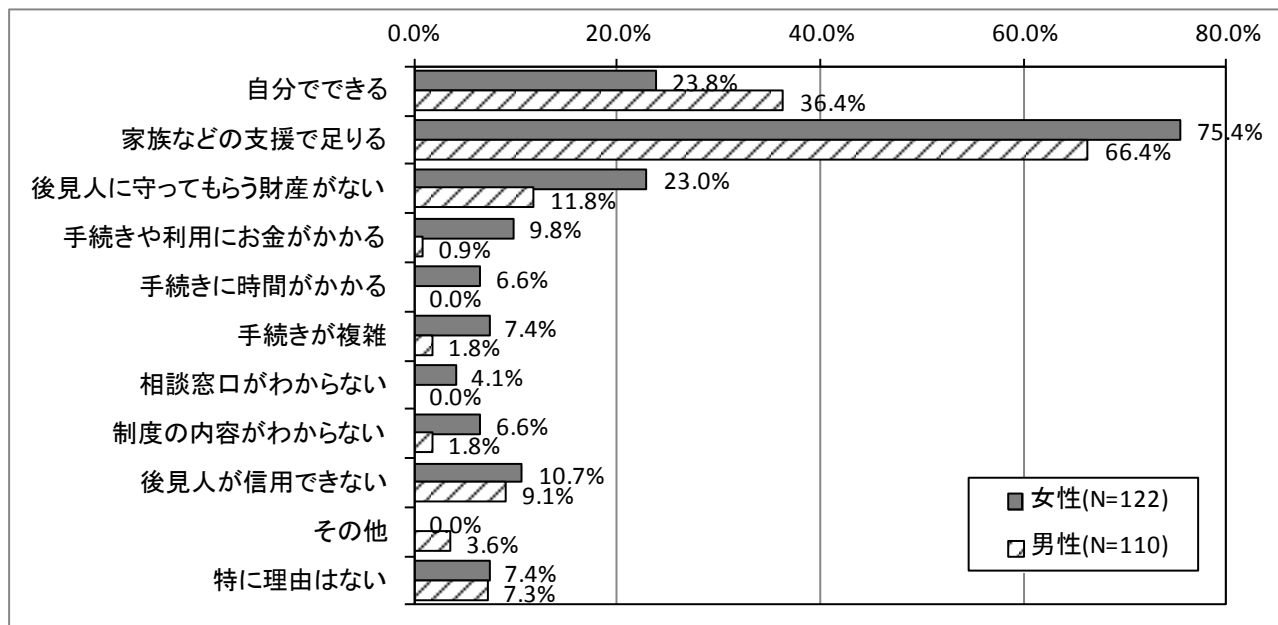
図 成年後見制度で利用したい支援内容（複数回答）



(5) 成年後見制度の利用を考えていない理由

成年後見制度を利用しない理由では、「家族などの支援で足りる」が70.9%で最も多く、次いで「自分でできる」の29.9%、「後見人に守ってもらう財産がない」の17.9%などとなっています。

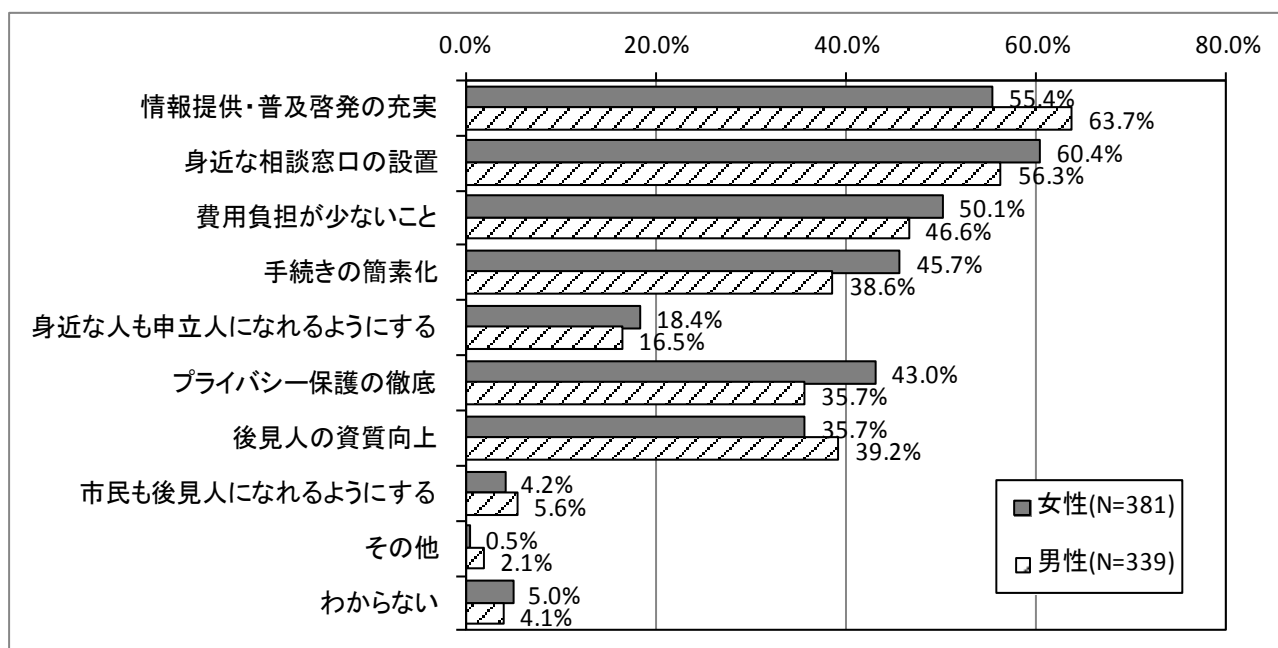
図 成年後見制度の利用を考えていない理由（複数回答）－性別



(6) 成年後見制度を利用しやすくするために必要なこと

成年後見制度をより利用しやすくするために必要なことでは、「情報提供・普及啓発の充実」が59.3%で、「身近な相談窓口の設置」が58.4%と多くなっています。これらに次いで、「費用負担が少ないこと」の48.4%、「手続きの簡素化」の42.2%などとなっています。

図 成年後見制度を利用しやすくするために必要なこと（複数回答）－性別

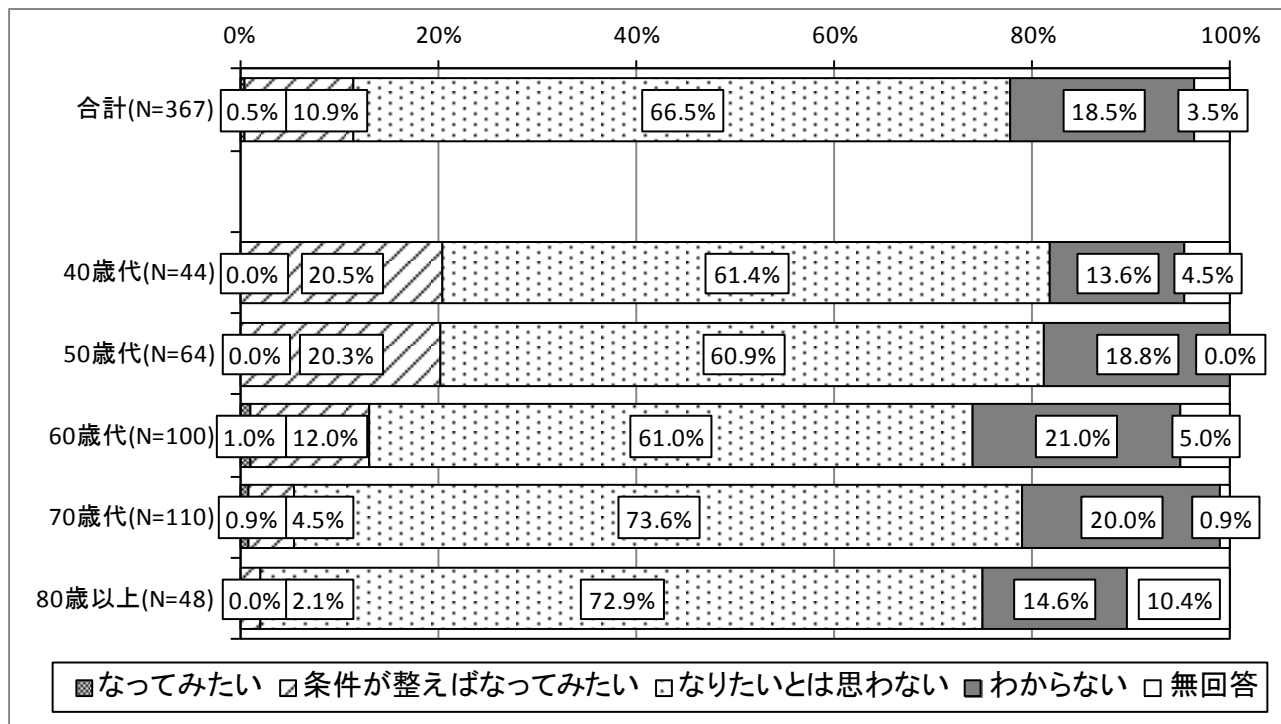


(7) 市民後見人になりたいか

市民後見人になってみたいかでは、「なりたいたは思わない」が66.5%で、「わからない」の18.5%となっています。「なつてみたい」は0.5%で、「条件が整えばなつてみたい」は10.9%と市民後見人に意欲を示している人も1割強いらっしゃいます。

年齢階層別にみると、「条件が整えばなつてみたい」は「40歳代」や「50歳代」といった若い世代ほど多くなつています。

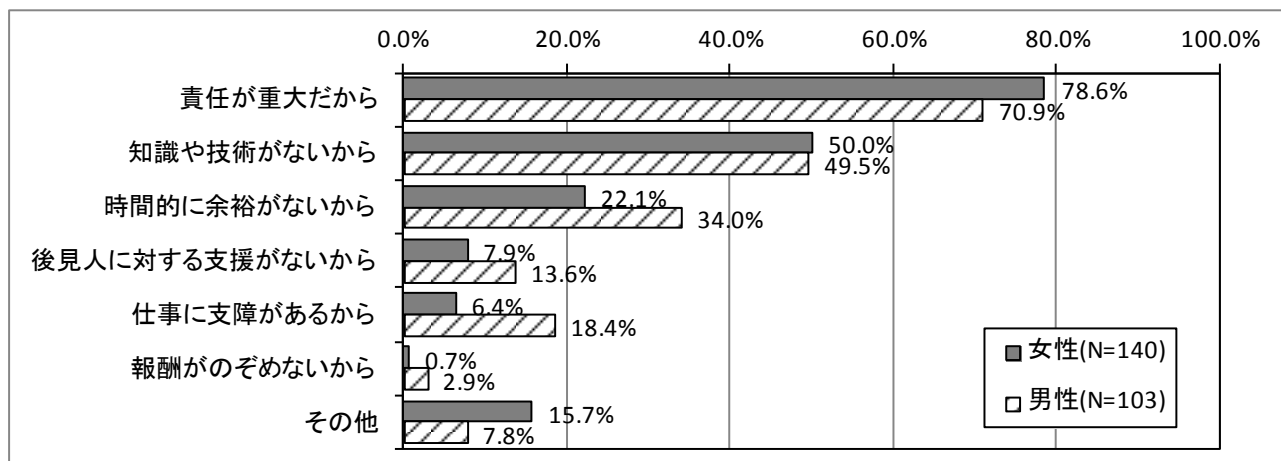
図 市民後見人になりたいか一年齢階層



(8) 市民後見人になりたくない理由

市民後見人になりたくない理由では、「責任が重大だから」が75.4%と最も多く、次いで、「知識や技術がないから」の49.6%などとなっています。

図 市民後見人になりたくない理由（複数回答）－性別

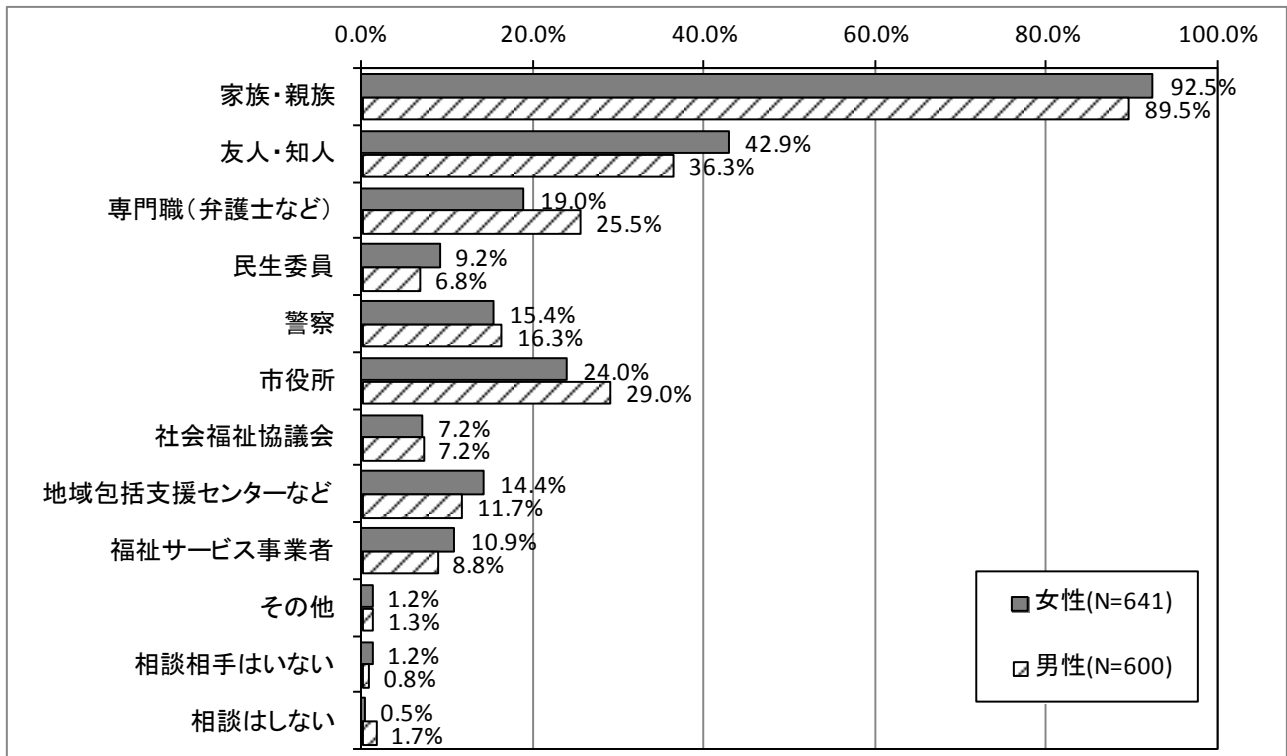


(9) 日常生活での困り事の相談相手

日常生活での困り事の相談相手では、「家族・親族」が90.9%と最も多く、次いで、「友人・知人」の39.8%、「市役所」の26.4%、「専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士など）」の22.2%などとなっています。

性別にみると、「女性」は「家族・親族」や「友人・知人」といった親しい人への相談が「男性」に比べて多く、「男性」は「専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士など）」や「警察」「市役所」といった公的機関への相談が多くなっています。

図 日常生活での困り事の相談相手（複数回答）－性別

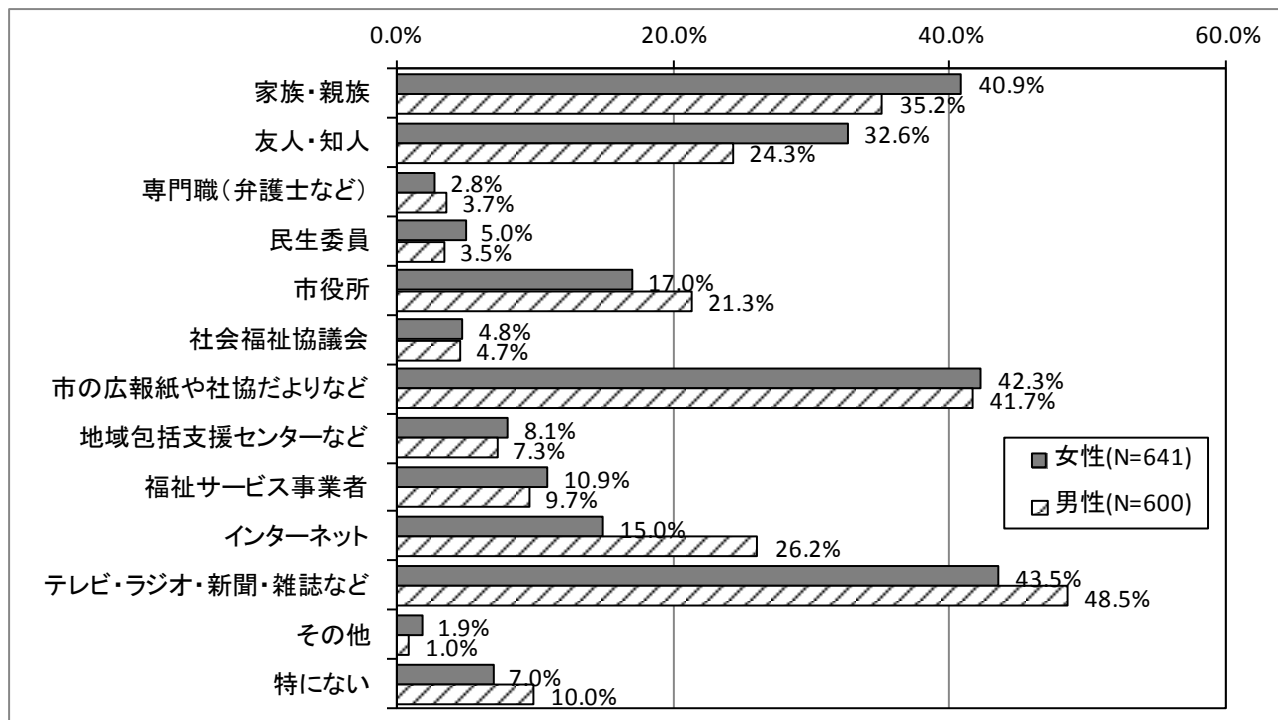


(10) 福祉情報の入手先

福祉に関する知識や情報の入手先では、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌など」が45.8%、「市の広報紙や社協だより、パンフレットなど」が41.9%、「家族・親族」が38.1%、「友人・知人」が28.5%などとなっています。

性別にみると、「女性」は「家族・親族」や「友人・知人」が多く、どちらかといえば人伝えで入手しているが、「男性」は「インターネット」や「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌など」が多く、マスメディアを通じて情報を入手する傾向がみられます。

図 福祉情報の入手先（複数回答）－性別



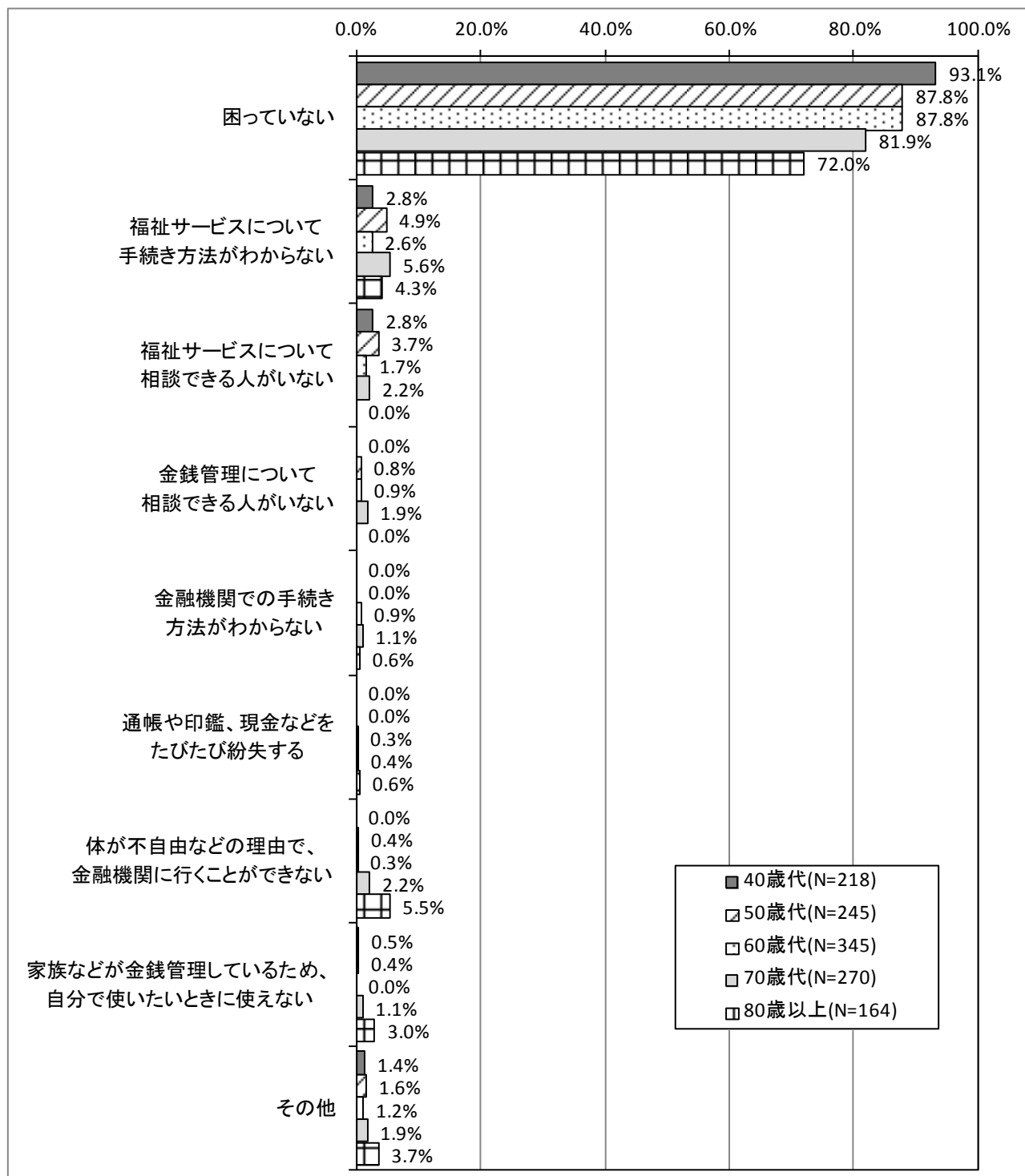
(11) 日常生活での困り事

日常生活での困り事では、「困っていない」が85.2%となっています。

困っている内容としては、「福祉サービスについて手続き方法がわからない」が3.9%などとなっています。

年齢階層別にみると、「困っていない」は年齢階層の上昇に伴い減少していきます。

図 日常生活での困り事（複数回答）－年齢階層



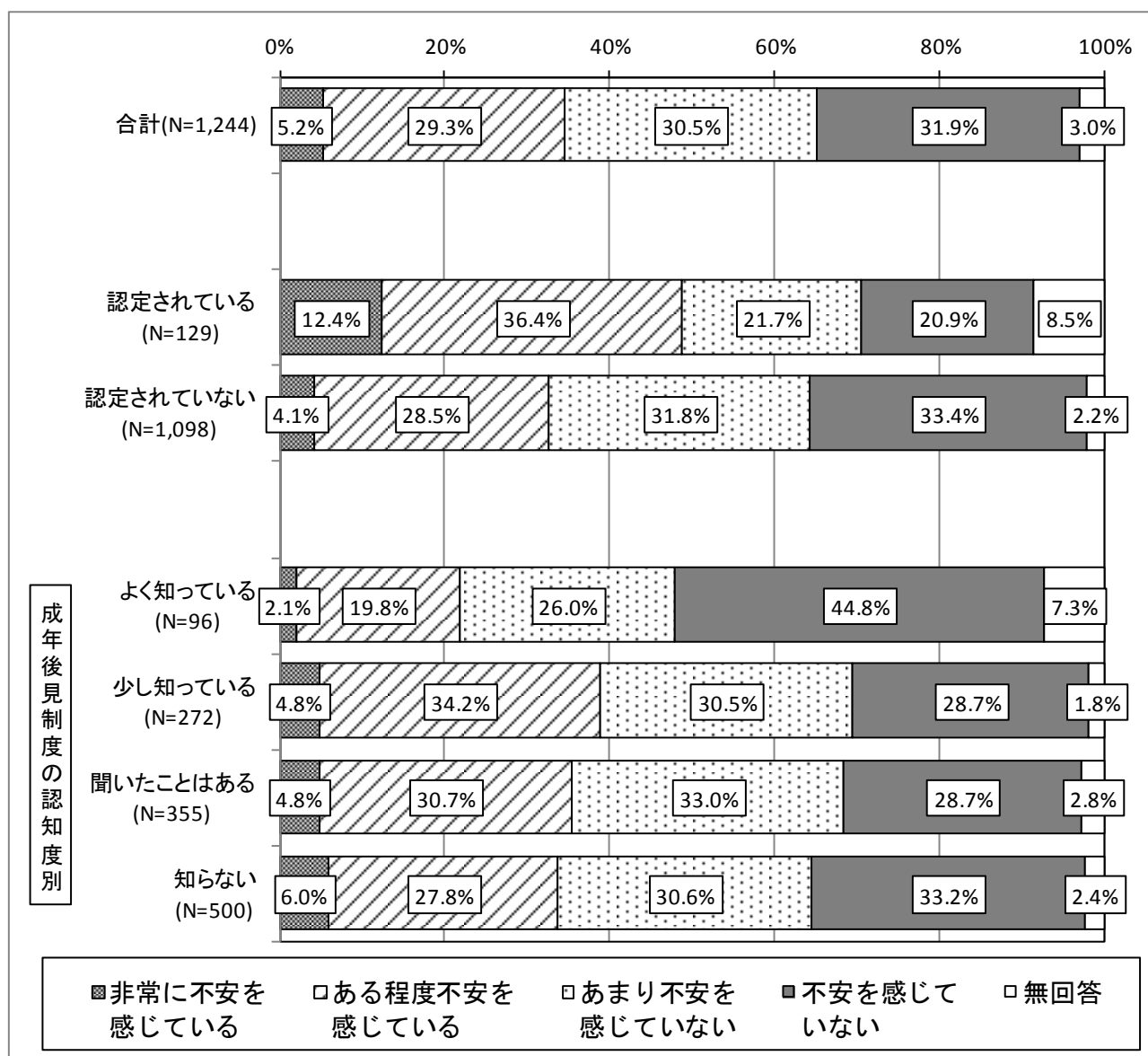
(12) 訪問販売などに対する不安の有無

訪問販売などについての不安の有無では、「不安を感じていない」が31.9%で、「あまり不安を感じていない」の30.5%を加えると、不安を感じていない人は62.4%となっています。逆に、「非常に不安を感じている」は5.2%で、「ある程度不安を感じている」の29.3%を加えた、不安を感じている人は、34.5%となっています。

要介護認定の有無別にみると、「非常に不安を感じている」は「認定されている」で12.4%と「認定されていない」の4.1%の3倍となるなど、不安感が強くなっています。

成年後見制度の認知度別にみると、「よく知っている」で「不安を感じていない」が44.8%と他の層より多くみられ、不安感が少なくなっています。

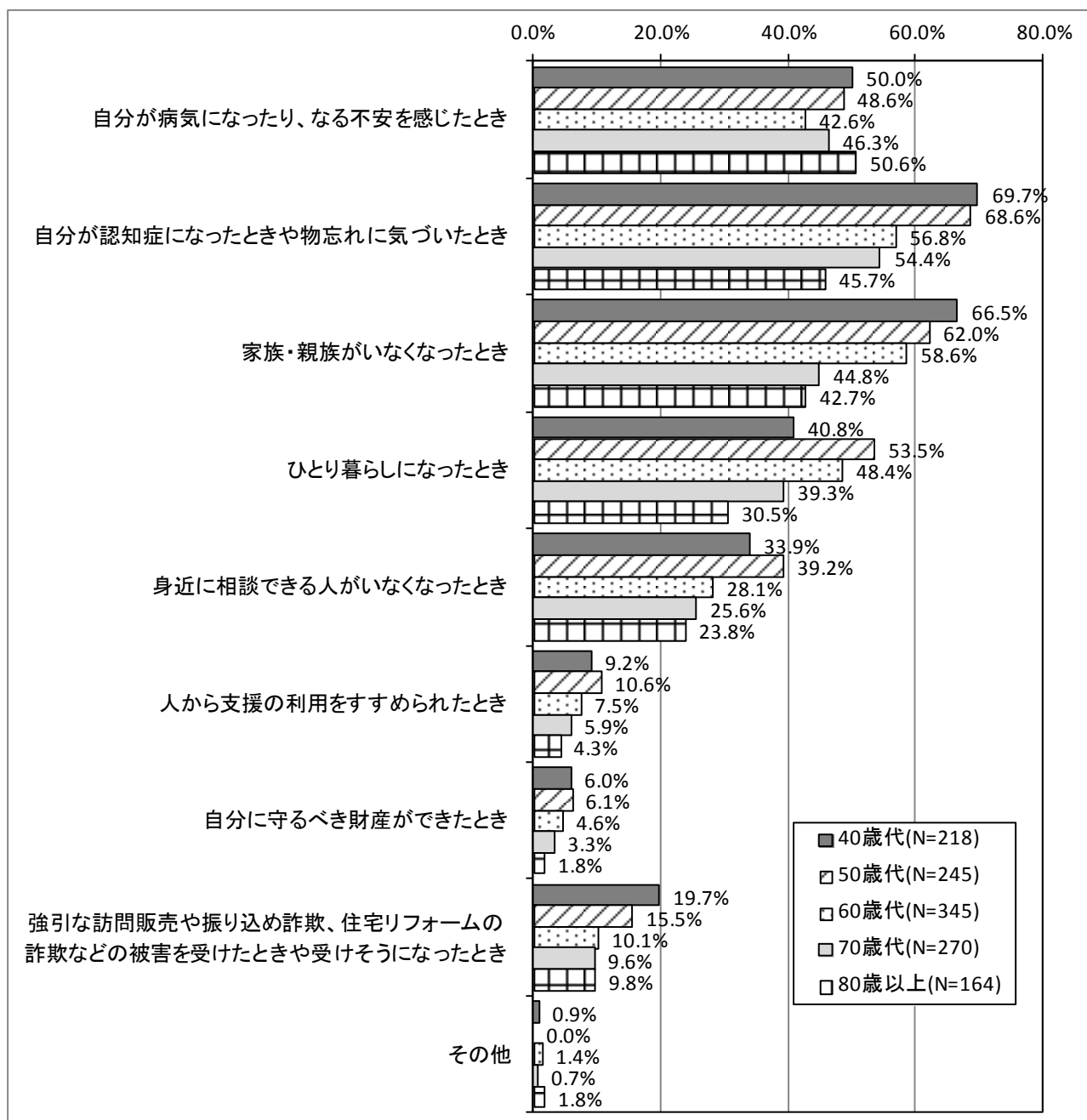
図 訪問販売などに対する不安の有無－要介護認定の有無・成年後見制度の認知度別



(13) どのような状態になれば支援を必要とするか

どのような状態になったら支援が必要となると思うかでは、「自分が認知症になったときや物忘れに気づいたとき」が 59.4%で、次いで、「家族・親族がいなくなったとき」の 55.6%、「自分が病気になったり、なる不安を感じたとき」の 46.9%、「ひとり暮らしになったとき」の 43.8%などとなっています。

図 どのような状態になれば支援を必要とするか（複数回答）一年齢階層別

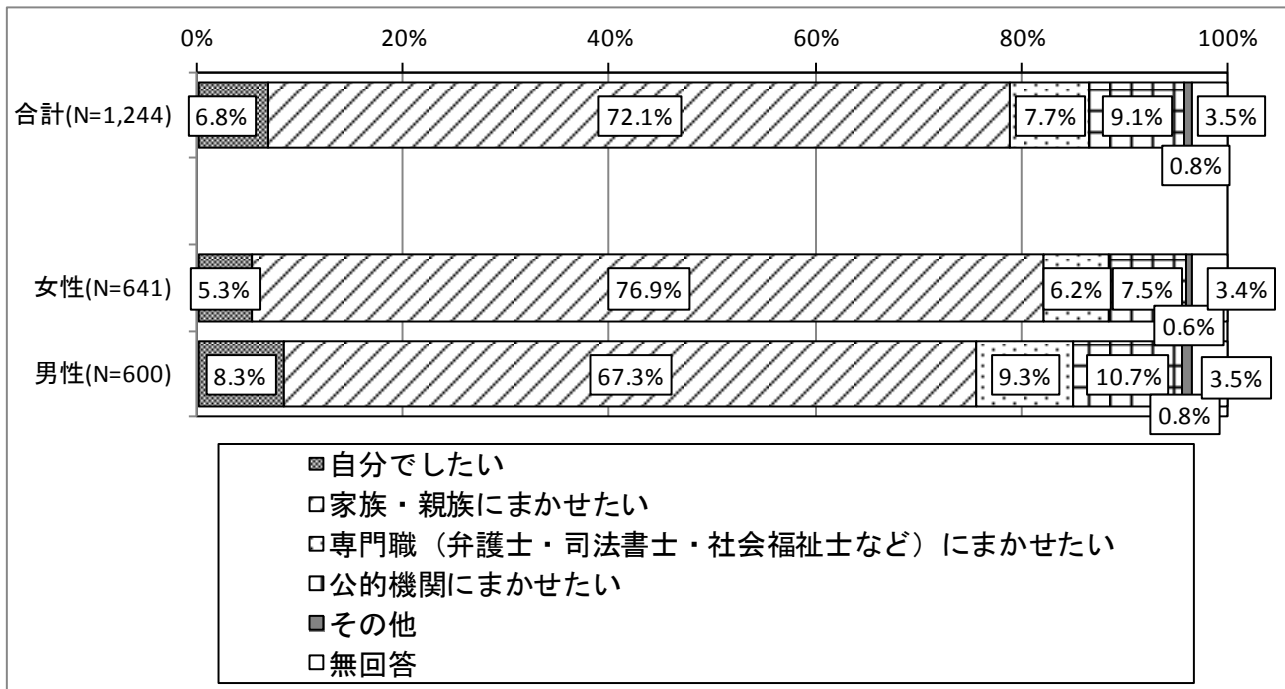


(14) 判断能力が低下したときに望む支援方法

認知症などで判断能力が低下したときに望む支援方法では、「家族・親族にまかせたい」が72.1%と最も多く、次いで、「公的機関にまかせたい」の9.1%などとなっています。

性別にみると、「女性」は「家族・親族にまかせたい」が「男性」より多くなっていますが、「男性」は「自分でしたい」や「専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士など）にまかせたい」「公的機関にまかせたい」が多くなっています。

図 判断能力が低下したときに望む支援方法－性別



○自由記述分類

アンケートで回答のあった自由記述を分類すると以下のような項目と件数となります。

分 類	回答数
成年後見制度・市民後見制度の必要性について	102
制度の認知について	87
啓発活動の必要性	86
後見人の資質が大切	34
今は制度に関心がない	31
制度全般に対する意見	31
頼れる制度を望む	30
将来に対する不安	26
制度について考えている（考えたい）	23
現制度の不備への不安	22
手続きの簡素化を望む	18
制度はできるだけ利用したくない	13
いつか利用すると思う	12
相談窓口が必要	11
アンケートに関して	9
本人、あるいは周囲で既に利用している	7
後見人の負担を少なくしてほしい	6
費用が心配	4
議論が必要	2
その他	117
合 計	671